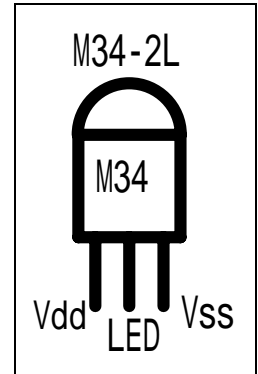
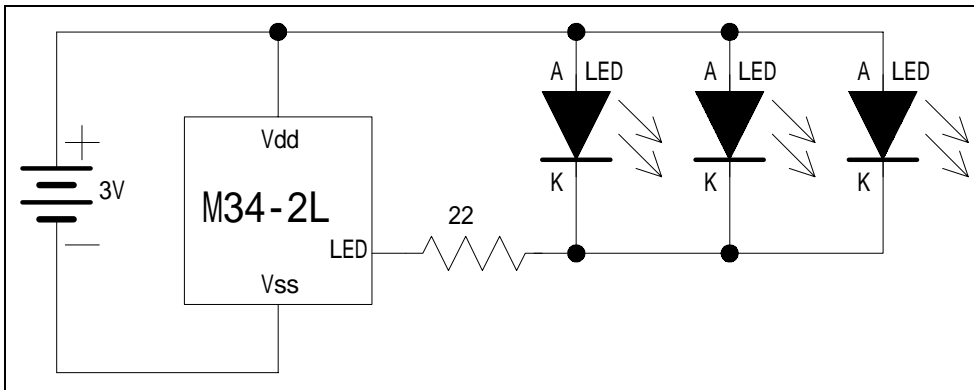


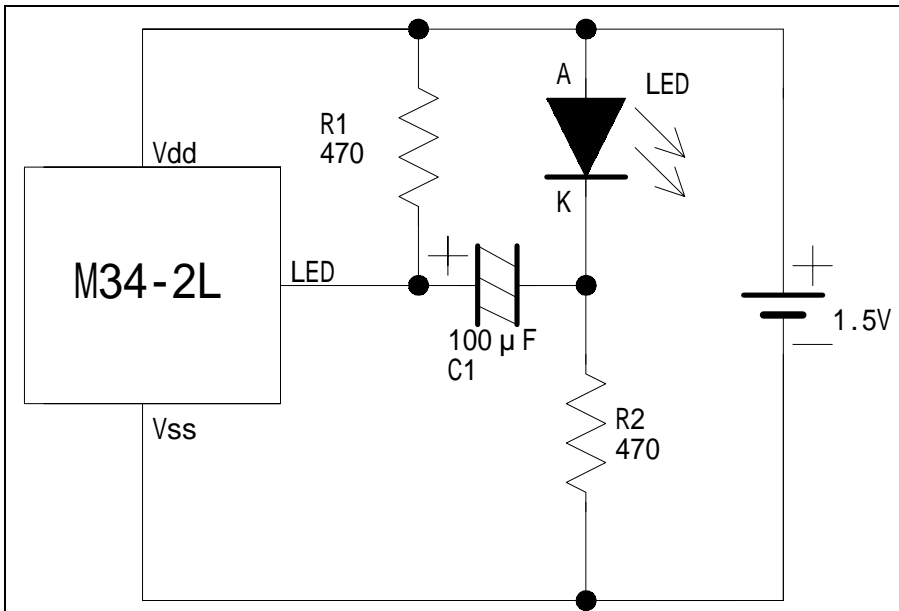
### 3端子LED点滅用IC M34-2L の使い方

- ・ M34-2Lは小型のトランジスタと同じ3端子のパッケージの、LED点滅用のICです。
- ・ 内部に発信回路などのLEDを点滅するために必要な回路が収められているため、点滅回路が簡単に作れます。
- ・ 内部の回路はCMOS構成なので、低消費電流です。(0.1mA程度・・・当店で確認値)
- ・ 標準的な電源電圧は3V、
  1. 3.5V(実力的にはもう少し低い電圧でも大丈夫なようです)~5Vで動作します。
  2. 25mA以上の出力を取ることが出来ます。
- ・ 点滅周期は2Hz。Duty(点灯/消灯の割合)は1/8です。



標準的な使い方としては、上の図の様にすると良いと思います。

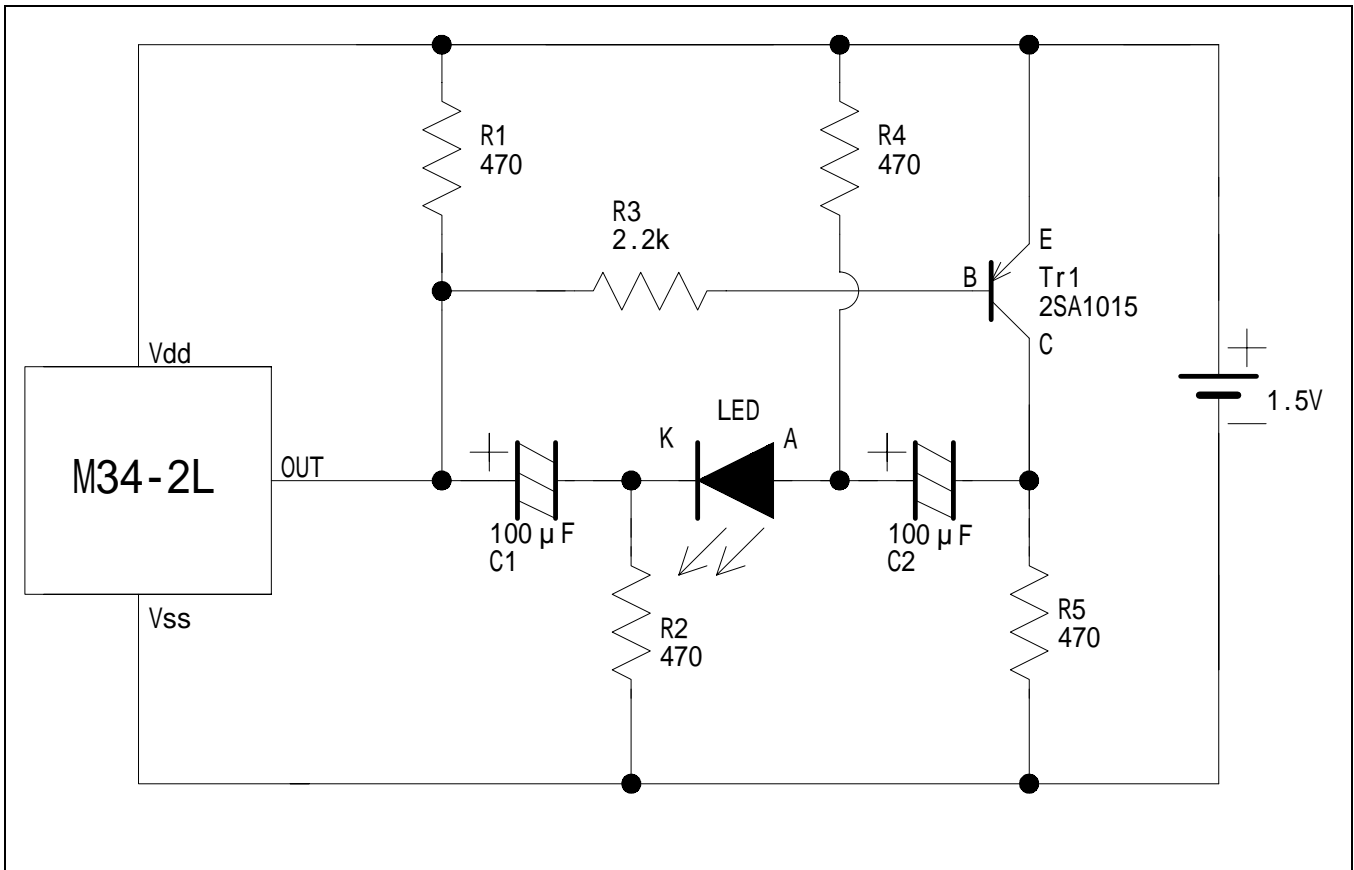
本来はLED1つに抵抗1本を直列に接続するべきですが、上の図では同じLEDを3個並列に接続するものとして抵抗は1本で済ませてしまっています。異なる色のLEDを使う場合、LED毎に抵抗を直列に接続してください。



ICは1.5V以下でも動作しますが、LEDを点灯するには2V程度は必要なので、乾電池1本ではLEDを点滅することは出来ません。

そこで、コンデンサを使った昇圧回路を追加して、乾電池1本でもLEDを点滅出来るようにした回路です。

ICの出力がONになると、LEDにはコンデンサと電池が直列に接続された形になりますので、コンデンサにためられた電荷分だけ、一瞬ピカッとひかります。



白や青のLEDの場合、点灯するためにはさらに高い電圧（3.5V位）が必要です。そこで昇圧回路を2段にした物が、上の回路です。

M34がONになるとトランジスタもONになり、LEDにて2個のコンデンサと電池が直列に接続された形となります。トランジスタはPNPの小信号用ならば、図の物でなくても使えます。